



必死に追いつくも1点差でまさかの敗北

防ぎきれなかった3点目・・・

(撮影：射手真矢)

駒澤大学2-3法政大学

6月1日 14:50 時之栖スポーツセンター裾野 E2 グラウンド

駒大 2 (1-1) 3 法政大 (1-2)

得点者 (アシスト)

【駒】31分伊藤 (中村) 【法】27分松本
【駒】87分キム 【法】52分高橋
【法】56分松本

KOMAZAWA	HOUSEI
GK①大石健太(4)	GK②田村昇太(4)
DF⑬大木暁(3)	DF⑰森保翔平(4)
DF⑤伊藤慎人(3)	DF②宗近慧(3)
DF④平尾優頼(3)	DF⑳田代雅也(2)
DF③田中雄一(4)	DF⑩永戸勝也(1)
MF⑯柳川剛輝(2)	MF⑤岩淵貴哉(4)
MF⑮立石忠之(2)	MF⑳西室隆規(2)
MF⑩鈴木啓晃(1)	MF ②白石智之(2)
(61分⑳キム・デセン(1))	MF⑯松田有平(3)
MF⑪小牧成亘(3)	FW⑭松本大輝(4)
FW⑭中村駿(2)	(86分相馬将夏 (3)
(61分⑩山本大貴 (4))	FW⑮高橋健哉(3)
FW⑨小牟田洋佑(3)	S U B
(78分⑧畦地健太(4))	GK①袴田裕人(3)
S U B	DF⑧大野瑞樹(4)
GK②檜山昇吾 (4)	FW⑬木村高彰(4)
DF②友廣壮希 (4)	MF⑬三田尚希(3)
MF⑰平野篤志(2)	MF⑥星雄次(3)
MF⑳斉藤純平 (3)	FW⑩鈴木貴大(2)
MANAGER	MANAGER
秋田浩一	秋吉保浩

【シュート】4:8 【GK】9:7 【CK】6:8 【直接FK】9:15
【間接FK】7:6 【主審】田中岳郎 【観衆】95人

警告(C) / 退場(S)

【駒】68分山本大貴(c)
【駒】88分キム・デセン(c)
【駒】91分田中雄一(c) ※データの左側が駒大

惜しくも1回戦敗退・・・

キャプテンの碓井と若山を欠いての状況で駒大は大臣杯予選の1回戦目に挑んだ。駒大は立ち上がりからリズムを崩しておりなかなかシュートにまでもちこめない。さらに相手をフリーで動かしてしまうなど危険な場面が出てきてしまっていた。駒大は前半27分に相手にPKを与えて決められてしまい先制点を許してしまう。しかし、31分にFW中村の左CKを中央でDF伊藤が頭で合わせ同点に追いつかせた。前半CKやFKで果敢に攻めるも攻撃がかみ合わず空ぶりに終わってしまい不安を残しながら前半を折り返す。そして、後半開始直後に法政による左から右へのパス回しによって翻弄され駒大の守備が崩されてしまい追加点を取られてしまう。さらに、56分にはペナルティエリア付近中央で浮き球のパスをもらった相手選手の強烈なシュートを浴びせられ、駄目押しゴールを決められる。その後、61分に鈴木を下げキムを、中村を下げ山本を投入する。87分小牧からのパスを受けたキムがゴールに強引に押し込み2-3と1点差にまで迫る。だが、前半以上に後半では

法大にシュートやCKで数多く攻められ危険な場面が多く最後まで連携がかみ合わずに試合終了となってしまった。やはり、中盤の2人を欠いた大きな穴を埋めることは難しかったようだ。試合は全体的に徹底的さで負けていることが多く感じられた。また、「(パスワークがうまくいってなかったが) みんなの距離感などが掴めず、スペースが空いて繋げる所も拾えなくて悪かった。」と柳川が述べていたり、「小牟田がDFに競り勝った後のセカンドボールを詰められていなかったり、拾えていなかったりしたこと。マークの受け渡しだったり、ボランチのポジションだったりを改善したい。」と伊藤が述べているように改善点の残る試合となってしまった。駒大の挑戦は惜しくも1回戦で終わってしまったが、この敗北を後期の試合の糧にして頑張ってもらいたい。(川合秀典)